

# NeoSler が考える AI・モダナイズの最適解

エーピーコミュニケーションズは  
モダナイズアセスメントサービスとAIを用いた開発会議支援サービスのデモを通じて  
攻めのDXを目指す企業を支援します

## 自社システムのクラウド親和度を評価する モダナイズアセスメントサービス



### 【サービス概要】

自社システムに関する質問に回答することで、現状課題や問題点を客観的に把握し、クラウドに作り変えるべきか、SaaSに置き換えるかなど、モダナイズの方向性をご提案いたします

### 【このような方におすすめ】

経営幹部へ企画書『DX戦略を実現する自社システムのあるべき姿』がうまく上申できず、AIやモダナイズの活用方法についてのヒントを探している

### 【導入効果】

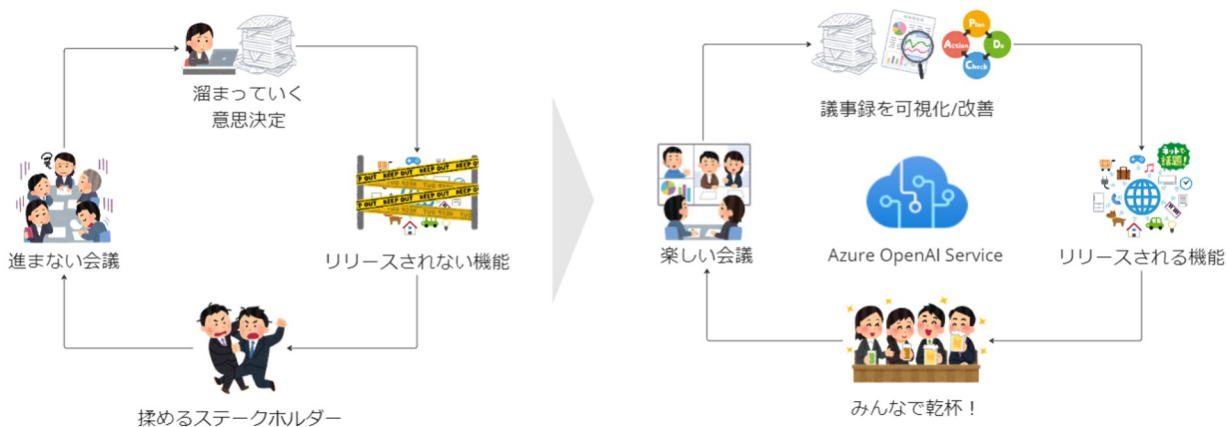
Microsoftおよび弊社が訴求するモダナイズの本質的な意味を理解し、モダナイズへの移行プロセスと、AI導入を手段にしない活用シーンがイメージできるようになります

### 【本サービスの利用シーン】

- DX戦略に沿った、次期システムの検討における現状課題の把握
- 自社システムのリプレイスにおいて単純なリプレイスやアップグレードではなく、新たな選択肢としてクラウドやSaaSが有効なのかの判断ができるようになる

## サービスのLTV最大化を実現する

# AOAI 会議分析・支援サービス



### 【サービス概要】

AIを用いて会議の分析や運営を支援し、議論のコンフリクトや無駄な手間を減らします。製品のローンチや新規機能のリリースに向けた意思決定を加速し、市場との対話やその先にあるサービスのLTVを最大化します。

### 【このような方におすすめ】

- Biz/Dev/Opsなど参加者の背景の違いから生じるコンフリクトにより合意形成が進まない
- リリース速度がボトルネックになり市場との対話が進まない

### 【導入効果】

- 会議の改善点や議論の争点が可視化できる
- 会議の管理や決定事項のチケットを自動化可能に
- 会議に掛かる業務時間が短縮し製品開発の時間を増やせる

### 【利用シーン】

- ビジネス(PdM)とエンジニア、発注者PM・開発ベンダー、事業部門と経営部門、など対等な立場で議論が進めにくい会議体
- 議論が白熱して収束しない会議

### お問い合わせ窓口

株式会社エーピーコミュニケーションズ ACS事業部 イベント事務局 浅野

Mail : [container-evaluate@ap-com.co.jp](mailto:container-evaluate@ap-com.co.jp)

または 日本マイクロソフト 貴社担当営業まで